



令和4年3月18日

報道提供資料

新木小学校6年生が開発したトマトジャム入り 白樺派のカレー販売会

新木小学校6年生の総合学習で、地域活性化をテーマに地元農家・川村学園女子大学の協力を得て、「自分で育てたトマトを使って開発したジャムを配合した白樺派のカレー」を作りました。児童たちの「地域の人にも食べてもらいたい」という思いから、あびこ農産物直売所あびこんで販売会を実施します。

■プロジェクトについて

新木小学校6年生が、昨年春から、地元農家の指導を受けて1人1本トマトを栽培し、収穫しました。そのトマトを、川村学園女子大学生の協力のもと、児童と学生が一緒になって、白樺派のカレーに合うトマトジャムを開発しました。実際に白樺派のカレーに配合してできあがったカレーを、あびこ農産物直売所あびこんで販売します。

■販売会概要

日時 令和4年3月20日(日) 午前9時30分～(完売次第、終了)

場所 あびこ農産物直売所あびこん(手賀沼親水広場水の館1階)

参加者 新木小学校6年生、教員

販売商品 白樺派のカレー新木小版

販売個数 約100個

販売価格 550円



【担当】

我孫子市環境経済部農政課

担当 西田

☎ 04-7185-1481